

地域活性化伝道師プロフィール		分野		地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	
		地域医療、福祉・介護、教育				観光・交流	
		地域コミュニティ・集落再生		◎		環境	
		地域交通・情報通信				まちづくり	
ふりがな		さいとう としゆき					
氏名		斉藤 俊幸					
所属	名称	イング総合計画株式会社					
	役職	代表取締役					
連絡	住所	(非公開)	〒 - -				
	連絡先	(公開)	E-Mail mike[アットマーク]zofrex.co.jp				
		(非公開)	TEL	-	FAX	-	
	連絡方法	E-Mailでお願いします					
略歴	<p>1980年コスタリカ国工業省にて工業振興計画従事(米州開発銀行 IDB)</p> <p>1982年イング総合計画株式会社設立、代表取締役に就任。</p> <p>地域再生マネージャーとして全国各地で活躍。</p> <p><プロジェクトの受賞歴></p> <p>みはらしファーム羽広いちご生産組合起業化支援(長野県伊那市/第30回日本農業大賞受賞)、企業組合宇佐もん工房起業化支援(高知県土佐市/平成24年農林水産省食品産業局長賞受賞)、本山町のブランド米「土佐天空の郷」の米焼酎、どぶろく起業化支援(高知県本山町/農林水産省・内閣官房 平成26年第1回ディスカバー農山漁村(むら)の宝に選定)、合同会社ねっか起業支援(福島県只見町/令和3年度農林水産省食品産業局長賞受賞)</p> <p><個人の成果></p> <p>買物難民の存在を日本で初めて問題提起(熊本県荒尾市地域再生事業で平成19年度地域づくり総務大臣表彰受賞)、地域再生マネージャーとして11年間地域に赴任した姿が、地域おこし協力隊の制度創設につながる(地域おこし協力隊のモデル)、キルギス共和国イシクリ地域一村一品運動で第12回 JICA 理事長賞受賞</p>						
著作・論文等	<p>地域活性化の課題構造の解明—畜産業を事例として(高知工科大学工学研究科基盤工学専攻博士後期課程修了、学術博士)</p> <p>ふるさと再生 ～架け橋を創る人たち～(講談社)</p> <p>僕ら地域おこし協力隊(文芸出版社)</p> <p>知られざる日本の地域力(今井印刷)</p> <p>実践コミュニティビジネス(中央大学出版部)</p> <p>徒歩圏内マーケット設立マニュアル(熊本県商工労働部)</p>						
取組概要	<p>地方創生事業を活用した地域活性化計画の推進、実行。限界集落の集落存続に向けた地域政策。畜産業、果樹振興などの農業振興を行っている。</p>						
メッセージ	<p>地域活性化とは何か。特に人口減少傾向に歯止めがかからず、雇用の場の少ない過疎地域にとっては地域の自立が最も重要なテーマであり、地域産業創出による自立の試みが何度となく行われてきた。また地域の成長を促すために、補助金による支援も数多く行われてきた。しかし、補助金依存の体質が高まるばかりであり、自立とはほど遠い地域が多数存在する。なぜ、うまくいかなかったのか。なぜ、衰退したのだろうか。</p> <p>一方、人口減少社会が招く、将来的な国力衰退や歳入不足を憂慮し、地方への補助金ばらまきを抑制する政策も生まれている。選択と集中を標榜する交付金事業や都市のコンパクト化、市町村合併、学校統廃合の推進も行われてきた。また、財政の効率化の延長線上に、過疎地域からの撤退も議論されている。</p> <p>地域活性化政策は、成長、衰退、効率化といった路線だけであろうか。他にも方法があるのではないか。</p>						
関連ホームページ	https://www.jcdr.jp/f0bf597a13ab5d7006ed89c0b83a0cfbad523caf.pdf				活動エリア	全国	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。